今回ノ要求条項ノ趣旨ノアル所ハ能ク諒解セリ
是等ノ條項ハ支店長ヲ信用シテ支店長ニ一任
セヨ、尚今回ノ登川ノ桐事件ガ円満ニ解決ヲ告
ゲ労働者ヲ平穏ニ稼働スルニ於テハ此際ニ限リ
労働者ノ責任ヲ問ハザルベシ
更ニ高木支店長ハ個人トシテ左ノ通リ附言セリ
高木個人トシテ麻生個人ニ対シ此ノ要求事項ハ
出来得ル限リ貴意ニ添フル心算ナリ、殊ニ横山店ノ如キ
ハ自分ヨリ三池ニ居レル当時ヨリ考ヘ居レルコトニシテ
是迄ナシ得ザリシノ考ナリ
（麻生坂口両名ハ此回答ニ満足ノ意ヲ表シ無事争議解決シタリ）
一、麻生等ハ翌二十八日休養ノ上二十九日登川、桐両所
ニ於テ日ノ多張ニ於テ講演会ヲ開キ事件ノ経
過ヲ報告シタル上、坂口ハ当分多張ニ留マリ宣
伝運動ニ努ムルコトトシ麻生ハ即日帰京ノ
途ニ就ケリ
一、経過以上ノ如クナルヲ以テ当局ハ会日本坑夫総聯合会
ハ一月十七日債銀値下発表後二十二日突発争議
ヲ続ケ遂ニ何等得ル所ナク僅ニ労働者ノ責任
ヲ問ハザル一項ヲ承認セシメタルニ止マレルモ麻生
坂口等ハ其ノ報告演説ニ於テ盛ニ会社ノ要求
事項ヲ容認シタル如キ口吻ヲ洩シ一般坑夫モ会社
ノ譲歩ニ依リ何等カ有利ノ條件ノ下ニ解決ヲ
告ゲタルモノト誤認シ居ルモノ多キガ如シ